

令和6年1月31日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

「芦屋発、君も今日から新聞記者」報告書

1 日 時：5/1 6/18 6/20 7/11 7/15 7/26 7/29 8/1 8/9 8/21 9/20
9/26 9/30 10/6 11/15

2 会 場：リードあしや 会議室 CD 他

3 担 当：橋野

4 参加者：延べ95人（県立芦屋高等学校 クラーク記念国際高等学校
芦屋学園高校）

5 指 導：武藤邦生さん 柏木一也さん（神戸新聞社）

6 事業詳細

(1) 目 的：子どもの頃から市民活動に触れて、知って、理解を深める環境をつくること。世代を超えたふれあいと、次世代を担う人材育成、活動人口を増やすことを目的とする。

(2) 内 容：講座1回、編集会議3回、インタビュー15人
高校生記者の興味のある分野、人にインタビューをし、記事に仕上げ、冊子にし、配布する。

7 記者の感想

- ・117KOBE ぼうさい委員会の大学生を取材し、大学生の考え方を聞き学びとなった。
- ・初めて記者として取材したのが、藤井さん（コープこうべ）だった。藤井さんがフォローしてくださったので、記事がかけた。感謝している。
- ・川津さん（スタジオパバロン）、活動だけでなく、チャレンジ精神、生きざまについて感銘を受けた。
- ・鍋島さん（ワークキューブ）の活動は、イメージとは違い、アットホームで、商品化している点字商品が素敵だった。
- ・廣瀬さん（こども家庭・保健センター）は、子どもの意思を尊重し、中高生向けのイベントにもそれが出ている。
- ・長谷さん（障がい福祉課）は、優しく接してくださり、取材の助け舟をたくさん出してくださった。
- ・市役所の職員と接することが大変緊張したが、岩本さん（地域福祉課）は優しく受け入れてくださり、福祉により興味を持った。
- ・岡本さん（防災安全課）に防災に対する行政の考え方は、良い学びとなった。
- ・森さん（「絵本で子育て」センター）からは、実際に読み聞かせを聞かせていただ

き、伝えようとする気持ちが、スムーズに伝わってきた。

- ・芦屋市手をつなぐ育成会は、インクルーシブ教育や、障がいを個性としてとらえることを学んだ。
- ・杉田さん（芦屋市身体障害者福祉協会）からは、芦屋市の取り組み、家で支えている方、当事者としてのありがたく受け止めている姿勢、前向きさに感動した。
- ・寺岡さん（地域支え合い推進委員）の話は、自分がやりたいことが満載であり、共感度が高かった。
- ・津久井さん（兵庫県弁護士会）には、とても会いたかった人の一人であり、直接災害時ケースマネジメントについてこと細かく聞いて感動した。
- ・森本さん（夢コネクト）は子ども中心に楽しそうなイベントを開催し、大人への道しるべを作っているようだった。頼ることの大切さに気付いた。

8 振り返り

- ・記者活動をしたのは、県立芦屋高等学校ボランティア部7人。それぞれ興味のある分野、人を検索し、インタビューを行ったが、記者2年目の学生は、事前調査を入念に行い、話をよく聞き取る力がついてきているのが、よく分かった。
- ・神戸新聞社と学生との間をつなぎながら、良い関係性の中に、良い活動（記事）が生まれることを実感した1年であった。

以上

